



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社イーエムシステムズ

コード番号 4820 URL <http://www.emsystems.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 國光 浩三

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務

(氏名) 青山 明

TEL 06-6397-1888

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	6,329	7.8	392	—	565	—	275	△71.6
23年3月期第3四半期	5,872	△16.2	△292	—	△112	—	969	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 270百万円 (△71.8%) 23年3月期第3四半期 959百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	35.63	35.33
23年3月期第3四半期	122.04	121.38

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	14,704	6,382	42.7
23年3月期	15,604	6,349	40.0

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 6,273百万円 23年3月期 6,244百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期の配当は未定であります。

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,627	5.2	648	650.2	813	155.4	409	△64.4	52.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	8,005,550 株	23年3月期	7,952,550 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	353,106 株	23年3月期	184,406 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	7,734,867 株	23年3月期3Q	7,951,573 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
第3四半期連結会計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
第3四半期連結会計期間 .....	9
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の売上高は、6,329百万円（前年同期比7.8%増）、経常利益565百万円（前年同期経常損失112百万円）、四半期純利益275百万円（前年同期比71.6%減）となりました。

四半期純利益につきましては前年同期を下回っておりますが、前年同期の業績数値には、当社で保有しておりました株式会社祥漢堂の株式の90%を三井物産株式会社に譲渡したことによる株式譲渡益が含まれております。当四半期におきましては、ビジネスモデルを転換して4年目を迎え、ユーザー数も順調に増加したことで、ストックビジネスによる安定した収益基盤を確立できつつあることが、前年同期を大幅に上回る経常利益に繋がっております。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により企業の生産活動が一時は低迷したものの、徐々に復旧が進み回復基調に転じてきております。しかし、欧州の金融不安と米国の景気停滞による円高進行や株価安等の不安材料も多く、景気の先行きは依然として不透明なまま推移しております。当社の主要販売先であります調剤薬局を取り巻く環境といたしましても、来年度の診療報酬制度の改定や景気の先行きが不透明であることから、経営環境は予断を許さない状況となっております。新規出店やシステム入れ替えなどの設備投資に対して慎重になっております。

調剤薬局向けシステム事業につきましては、ストックビジネスモデルによる収益基盤のさらなる拡大を目指し、「Recepty NEXT」のユーザー数拡大に注力いたしました。その結果、ストックビジネスの市場での評価が定着してきたこともあり、当第3四半期の販売台数は当初予想を下回ったものの、第2四半期に引き続き前年同期を大幅に上回りました。

ネットワーク事業につきましては、競争が激化している調剤薬局業界において、薬局間のデータ共有化・効率化を容易に低コストで構築可能な薬局間情報共有システム「NET-α」の利用件数が順調に増加しております。また、国立感染症研究所感染症情報センターとの共同研究である「感染症流行探知サービス」の利用薬局も引き続き順調に増加しており、開通待ちのお客様を含めて全国で約7,200件のお客様にご利用いただいております。平成22年6月22日に「高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部（IT戦略本部）」より発表された「新たな情報通信技術戦略 工程表」に記載されている「『どこでもMY病院』構想の実現」におきましては、沖縄県浦添市に続き、香川県高松市、島根県出雲市など他の地域の実証事業にも当社は参加しております。この実証事業は、国が医療情報のIT化を後押ししており、高い注目を集めております。

医科システム事業につきましては、医事会計システム「Medical Recepty NEXT クラークスタイル」及び電子カルテシステム「Medical Recepty NEXT カルテスタイル」のユーザー数拡大を目指し、上期に引き続き新規販売チャネルの開拓に注力いたしました。その結果、第3四半期といたしましては、当初予想を下回ったものの前年同期を上回る販売台数となり、第4四半期以降の受注獲得も期待されます。

新大阪ブリックビルにつきましては、テナント事務所は約95%の入居率、クリニックモールには4クリニックが入居しており、引き続き入居先の増加に努めております。また、ビル資産の有効活用につきましては、市況の動きに合わせて慎重に検討しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の調剤薬局向けシステム事業及びその関連事業は、売上高6,334百万円（前年同期比25.9%増）、営業利益383百万円（前年同期 営業損失313百万円）となり、当初見通しを上回る結果となりました。なお、調剤薬局向けシステム事業の売上高が連結売上高を上回っている主な要因といたしましては、連結子会社の益盟軟件系統開発（南京）有限公司の株式会社イーエムシステムズに対するソフトウェア開発受託売上を連結相殺する前の金額を記載しているためであります。

株式会社ラソンテにおきましては、引き続き各事業で付加価値の高いサービス内容を強化して事業を推し進めてまいりました。スポーツジム「LASANTE」につきましては、特長である「完全個別対応」の付加価値を活かして会員数の増加を継続的に図ることで、当初見通しを上回る売上高となりました。保育園「LaLa Kids」につきましても、食育および知育プログラム、園児個々の対応をご評価いただき、園児数は着実に増加しております。また、貸会議室におきましても、需要は順調に伸びており、新大阪駅前という立地の良さと施設の質感やサービス内容をご評価いただき、リピーターの増加による着実な収益確保で事業全体の底上げができました。

この結果、当第3四半期連結累計期間のその他の事業は、売上高190百万円（前年同期比17.6%増）、営業利益44百万円（前年同期比80.9%増）となり、当初見通しを上回る結果となりました。

（上記セグメント別の売上高及び営業利益、営業損失は、セグメント間の内部取引消去前の金額であります。）

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産につきましては、前期末に比べ900百万円減少となりました。流動資産では、現金及び預金が減少したことにより、前期末に比べ361百万円減少いたしました。固定資産では、減価償却累計額の増加により、前期末に比べ539百万円減少いたしました。

負債につきましては、前期末に比べ933百万円減少となりました。流動負債では、未払法人税等や賞与引当金が減少したことにより、前期末と比べ76百万円減少いたしました。固定負債では、長期預り保証金が増加いたしました。長期借入金の返済や製品保証引当金が減少したため、前期末に比べ856百万円減少いたしました。

純資産につきましては、前期末に比べ32百万円の増加となりました。主な要因といたしましては、自己株式の取得に伴い145百万円減少いたしました。ストック・オプションの行使により、資本金等が43百万円増加したことや、当第3四半期連結累計期間の業績が堅調に推移したことに伴い、利益剰余金が135百万円増加したためとなります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月13日の「平成23年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

なお、これに伴う影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,134,655	779,789
受取手形及び売掛金	1,776,611	1,520,905
有価証券	200,029	200,123
商品及び製品	74,174	115,865
原材料及び貯蔵品	1,773	1,585
その他	356,046	563,787
貸倒引当金	△180	△170
流動資産合計	3,543,110	3,181,886
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,148,552	1,085,433
土地	706,716	702,881
リース資産（純額）	187,006	158,776
その他（純額）	101,231	70,488
有形固定資産合計	2,143,507	2,017,580
無形固定資産		
ソフトウェア	413,037	308,775
リース資産	4,592	3,411
その他	5,271	5,244
無形固定資産合計	422,900	317,431
投資その他の資産		
投資不動産（純額）	8,677,440	8,448,795
その他	818,174	738,905
貸倒引当金	△378	△363
投資その他の資産合計	9,495,236	9,187,337
固定資産合計	12,061,645	11,522,348
資産合計	15,604,755	14,704,234
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	551,506	475,944
短期借入金	—	400,000
1年内返済予定の長期借入金	480,000	480,000
未払金	263,323	300,741
リース債務	69,607	66,436
未払法人税等	497,392	55,811
賞与引当金	189,428	135,956
ポイント引当金	—	404
その他	677,906	736,871
流動負債合計	2,729,164	2,652,167

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
固定負債		
長期借入金	5,276,000	4,416,000
リース債務	139,370	111,999
退職給付引当金	258,073	279,333
役員退職慰労引当金	1,120	—
製品保証引当金	245,270	171,879
長期預り保証金	587,630	679,381
長期未払金	18,931	11,321
固定負債合計	6,526,395	5,669,914
負債合計	9,255,560	8,322,081
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,579,926	1,601,815
資本剰余金	1,551,031	1,572,920
利益剰余金	3,249,272	3,385,047
自己株式	△128,394	△273,617
株主資本合計	6,251,835	6,286,165
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△798	△1,998
為替換算調整勘定	△6,695	△10,323
その他の包括利益累計額合計	△7,494	△12,321
新株予約権	104,853	108,309
純資産合計	6,349,194	6,382,153
負債純資産合計	15,604,755	14,704,234

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	5,872,259	6,329,036
売上原価	3,196,258	3,119,949
売上総利益	2,676,001	3,209,086
販売費及び一般管理費	2,968,132	2,816,171
営業利益又は営業損失(△)	△292,131	392,915
営業外収益		
受取利息	5,522	6,282
受取配当金	138	7,138
不動産賃貸収入	688,498	668,614
製品保証引当金戻入額	—	29,603
その他	8,043	7,025
営業外収益合計	702,202	718,664
営業外費用		
支払利息	60,376	41,171
支払手数料	835	—
不動産賃貸費用	388,035	373,269
持分法による投資損失	67,125	118,677
その他	5,707	12,949
営業外費用合計	522,079	546,068
経常利益又は経常損失(△)	△112,008	565,510
特別利益		
関係会社株式売却益	1,134,158	—
特別利益合計	1,134,158	—
特別損失		
固定資産売却損	—	87
固定資産除却損	1,219	217
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	10,036	—
減損損失	135,692	—
災害による損失	—	236
特別損失合計	146,947	541
税金等調整前四半期純利益	875,202	564,969
法人税等	△94,360	289,367
少数株主損益調整前四半期純利益	969,563	275,601
四半期純利益	969,563	275,601



(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
売上高	1,793,420	2,094,564
売上原価	880,124	1,029,914
売上総利益	913,295	1,064,650
販売費及び一般管理費	894,374	966,635
営業利益	18,921	98,014
営業外収益		
受取利息	2,120	2,201
受取配当金	69	69
不動産賃貸収入	223,924	241,492
その他	3,692	1,553
営業外収益合計	229,806	245,316
営業外費用		
支払利息	16,234	11,294
支払手数料	653	—
不動産賃貸費用	134,539	129,238
持分法による投資損失	20,170	35,806
その他	2,780	2,004
営業外費用合計	174,378	178,343
経常利益	74,350	164,987
特別損失		
固定資産除却損	948	22
特別損失合計	948	22
税金等調整前四半期純利益	73,401	164,964
法人税等	33,236	106,712
少数株主損益調整前四半期純利益	40,164	58,252
四半期純利益	40,164	58,252

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	969,563	275,601
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△702	△1,200
為替換算調整勘定	△9,391	△3,627
その他の包括利益合計	△10,094	△4,827
四半期包括利益	959,468	270,774
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	959,468	270,774
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	40,164	58,252
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	671	△510
為替換算調整勘定	△6,435	△4,649
その他の包括利益合計	△5,764	△5,159
四半期包括利益	34,400	53,092
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	34,400	53,092
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。